

米国ハワイ大学医学部留学 報告書

【はじめに】

この度 2012 年 6 月、米国ハワイ大学医学部の提携病院である Kuakini Medical Center にて臨床実習をさせて頂きましたので、御報告させていただきます。

このような素晴らしい機会を下された先生方、佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会の皆様には、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

また、この報告書を通して、より多くの学生の皆様に海外臨床実習への興味・関心を持って頂ければ幸いです。

【プログラム概要】

<場所> 米国ハワイ州 Kuakini Medical Center

<期間> 2012 年 6 月 3 日(日)～6 月 29 日(金) (4 週間)

<内容> 1 週間は家庭医 Dr.Tokeshi のクリニックで、残りの 3 週間は内科チームで、臨床実習を行う。

<費用> 宿泊費(\$800) + 交通費 + 食費

【Kuakini Medical Center について】



Kuakini Medical Center(以後、KMC)はわずか 38 床の「日本慈善病院」という施設から始まりました。日本人移民の作った病院で、1900 年にチャイナタウンの大火事で住む家をなくしてしまった日本人移民を救うために「日本慈善協会」が創立したものです。1917 年には現在のクアキニ通りに移転し、その後 1979 年に 9 階建ての医療オフィス、1980 年には 10 階建ての老人ホームが建ち、屋上にヘリポートが設けられました。現在 250 床という小さな病院ではありますが、急性期医療病院としての認定を受けており、多種多様の患者が入院しています。また、日本人移民により作られた病院の中で唯一現存する病院です。

ハワイ大学医学部の学生はハワイ州のいくつかの病院で臨床実習を行いますが、その中心となる病院が KMC です。

【研修の概要】

6/3(日)~10(日) 家庭医 Dr.Tokeshi のクリニック、KMC での臨床実習。

<一週間の大きな流れ>

[月~金曜日]

3:30~6:30 Pre-Rounds (KMC に入院する Dr.Tokeshi の担当患者の診察、カルテ記載を行う。)

6:30~8:30 Attending Rounds (Dr.Tokeshi と回診。患者についてのプレゼンテーションも行う。)

9:00~17:00 Outpatient Clinic (Dr. Tokeshi のオフィスで外来患者の問診、身体診察、採血を行う。)

17:00~20:00 Rounds (朝同様、担当患者を診察し、カルテ記載を行う。患者に何か問題があれば Dr.Tokeshi に報告する。)

[水、土曜日]

3:30~ 6:30 Pre-Rounds

6:30~8:30 Attending Rounds

9:00~12:00 Outpatient Clinic (水、土曜の外来診療は午前のみ)

13:00~16:00 Rounds at KMC

[日曜日]

3:30~ 6:30 Pre-Rounds

6:30~8:30 Attending Rounds with Dr.Tokeshi

8:30~11:30 Nursing home Rounds (Dr.Tokeshi と遠方の Nursing home 訪問診療を行う)

13:00~16:00 Rounds at KMC

<Dr.Tokeshi のクリニック、KMC での臨床実習>

Dr. Tokeshi はハワイ大学医学部の一期生で、ハワイの家庭医です。KMC の医師であり、KMC に隣接するオフィスで外来診療も行っています。患者からの信頼が非常に厚く、ハワイで最も素晴らしい家庭医とされています。

Dr. Tokeshi は毎朝 4 時半に出勤し、朝の回診は 6 時半に始まります。学生は 3 時頃には病棟へ行き、回診までに Dr.Tokeshi の担当患者全員の診察、カルテ作成を行わなければなりません。6 時半から Dr.Tokeshi と回診を行い、回診後は夕方まで外来診療を行います。外来診療では、ほとんどの患者の問診・身体診察・採血を任せられました。その後は再び KMC に戻って、朝同様に担当患者の診察・カルテ記載を行いました。

また、Dr.Tokeshi の新規入院患者があった際には 24 時間いつでも呼び出されます。

毎日多くの患者の問診・身体診察・カルテ記載を経験し、一週間で多くのことを学ぶことができました。

6/11(月)~29(金) 内科チームでの臨床実習。

内科チームは A, B, C, D の 4 つに分かれており、それぞれのチームは学生、インターン、レジデントの 3 人で

構成されます。

<一週間の大まかな流れ>

[月曜日～金曜日]

5:30~6:30 Pre-Rounds (担当患者の診察、カルテ記載)

6:30~7:00 Team Rounds (チームごとに議論、回診)

7:00~7:30 Sign-In Rounds (レジデントが内科チーフレジデントに症例報告)

7:30~9:00 Morning Report (全チーム集まり、担当チームが症例報告、討論)

9:00~10:30 Attending Rounds (専門医と患者について議論、回診)

10:30~11:30 ICU Rounds (ICU の指導医と全チームが集まり、ICU 入院患者について報告、議論)

11:30~15:00 チームごとに午前中にできなかった仕事を行う

15:00 Sign-Out (チーフレジデントへの症例報告、on call チームへの引き継ぎ)

※週に数回、専門医による学生、レジデント向けの講義が入る

[土曜日]

5:30~7:00 Pre-Rounds

7:00~7:30 Sign-In Rounds

7:30~8:30 EBM (担当チームによる症例提示とそれに関連する論文の発表)

その後、チームごとに仕事を行い、終わり次第 on-call チームに引き継ぎを行う。

[on-call]

チームは交代で4日に1度、“on-call”と呼ばれる、新規入院患者を引き受ける当番につきます。on-call は当直も兼ね、夜間は他のチームの患者も全て受け持ちます。学生とインターンは朝7時から17時まで、レジデントは翌朝7時まで行い、翌日は休みになります。新規入院患者が来ると on-call チームに連絡が入り、インターン・レジデントが問診や身体診察を行い、専門医に相談して治療方針を決めます。

学生は基本的に日曜が休みで、日曜が on-call の場合は土曜が休みになります。

<内科チームでの臨床実習>

Kuakini medical center では、学生は毎朝5時半に来て、担当患者の診察、カルテ記載を行います。6時にインターンが、6時半にレジデントが来ます。その後、チームで担当患者の回診を行い、そこで患者についての報告を行い、カルテのチェックも行われます。レジデントより早くにインターンが、インターンより早くに学生が病棟に来て担当患者の状態を把握しておく必要があります。日本とは違い、医学生もチームの一員という意識が強く、意見も求められ、レジデントや専門医への担当患者のプレゼンテーションやカルテ記載も積極的に行い、レジデントがその評価を行います。

カルテ(Progress note)は手書きで、日本と同じように SOAP 形式 (S: Subjective, O: Objective, A/P: Assessment&Plan)で書きます。多くの Problem list を挙げ、1つ1つに項目に対する評価と治療方針を書きます。それはエビデンスに基づいたものでなければならず、常に UpToDate で論文の検索を行っていました。

興味深い論文があれば、印刷して他の学生やレジデント、アテンディングに配ることもあり、皆で知識を共有しようという意識が浸透していました。

レジデントは指導にも熱心で、個人的に学生への講義を行うこともよくあり、とても勉強になりました。

<ハワイでの海外臨床実習を終えて>

海外からの留学生としての臨床実習であり、今回の実習は見学が中心だと思っていました。しかし、Dr. Tokeshi のクリニックでは多くの外来患者の問診・身体診察・採血を任せられ、KMC でも多くの患者の診察、カルテ記載、プレゼンテーションを行いました。また、英語の話せない日本人患者の通訳を任せられることもよくあり、「チームの一員」として多くのことに関わることができました。

当大学の臨床実習では「学生」としての意識が強く、「チームの一員」であるという意識に欠けていたような気がします。今回 KMC で行ったような実習を行っていたら、より充実した臨床実習となり、より多くのことを学ぶことができたのではないかと強く感じました。

ハワイにはアメリカの優秀な医師だけでなく、アジア各国の優秀な医師がレジデントとしてたくさん集まっています。このような素晴らしい環境で臨床実習を行うことにより、良い刺激を受け、多くの新しい発見があり、とても有意義な臨床実習となりました。

より多くの学生が海外臨床実習を行い、佐賀大学医学部がより国際的な大学となることを願ってやみません。最後に、このような貴重な機会を与えて下さった先生方、佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会の皆様に、改めて心より御礼申し上げます。